

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 159 12月号

2018年12月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)



読書と私 No.149

「物語の扉をひらく」

龍野町 中村 奈津子

小さい頃から本が好きです。誕生日やクリスマスのプレゼントには、本をお願いしていましたし、寝る時間になっても、豆電球の下でよくこっそりと読んでいました。今でも本を読むことは、私にとって最高の娯楽です。読んでいる間は、物語の世界に自分が丸ごとスライドしていく感覚で、現実が遠くなってゆき、読み終えた時は、その世界の扉が静かに閉まり、「ああ、帰ってきたなあ」と扉の向こうを名残惜しく思います。

また、^{そうてい}装幀も楽しみの1つです。電子書籍は便利ですが、私は「物語の扉をひらく」という感じがして、紙の^{ページ}頁をめくることがとても好きなのです。表紙や見返し、中扉の紙質やデザイン、字体やインクの色、頁の指ざわり…。作家さんと^{そうてい か}装幀家が作りあげた、本の中に散りばめられたたくさんの宝物を発見する喜びはひとしおです。おすすめは恩田陸さんの『七月に流れる花』と『八月は冷たい城』。小学生から大人まで楽しめる幻想的なミステリーで、私の好きな祖父江慎さんによる、とても美しい装幀の本です。

そして、我が家の子ども達も本好きです。4歳になったばかりの息子は恐竜が大好きで、黒川みつひろさんのトリケラトプスの大冒険シリーズがお気に入り。ひらがなも読めるようになり、1歳の妹によく絵本を読み聞かせてくれます。これからも、たくさんのお話の扉をひらいてほしいです。



『七月に流れる花』・『八月は冷たい城』
恩田 陸 著 講談社

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『カラス学のすすめ』 杉田 昭栄 著 緑書房



身近な鳥であるにもかかわらず、その色や習性から嫌われることも多いカラス。20年にわたってカラスを研究し、カラス博士と呼ばれる著者が、さまざまな角

度からカラスの素顔を語る。

まず、神話や伝承など民俗学的見地から考察すると、日本では、古代、神武天皇の道先案内役を務めたのは八咫鳥やたがらすであり、太陽の鳥とされている。北欧神話、旧約聖書でもカラスは重要な役割を果たしているが、韓国や中国、エジプトなどカラスを不吉な鳥とする国も多い。

続いて、著者の専門である生態学や解剖学的な検証が行われる。カラスの骨は、他の鳥と同様に非常に軽く、上顎と下顎の間には方形骨という骨があり、ニワトリの卵を丸呑みできるほど顎の可動域が広い。また、クチバシの付け根

から先に向かって鼻の穴を隠すふさふさとした口髭のような鼻毛があり、著者曰く、風格を醸し出している。胃は食いだめができる構造で丸呑みした餌を蓄えられ、腸は身軽さを追求してもうきんるい猛禽類並みに短い。カラスの脳は、体重に占める割合がニワトリの10倍にもなる。著者は、カラスの知能を知るために工夫を凝らした実験を行い、写真で人の顔の判別が可能だけでなく、数の概念を持ち、人間の男女の識別ができることも分かった。さらに、1年たっても餌の入っている箱の色を覚えているというから、人間顔負けの記憶力である。

カラスと共生するためには、人間中心の考え方をせず、私たちも自然界の一生物であるという意識が必要だと著者は言う。本書には、著者の“カラス愛”があふれている。読んでいるうちに、あの黒色の鳥が愛おしく見えてくるから不思議である。 (新宮図書館 藤川)

トピックス

イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで

新宮図書館



★★ おはなしのしかんのあとは ★★
キラキラツリーを作ろう!

おはなしを聞いた後で、クリスマスツリーを作ります。

【日時】12月8日(土) 10時15分~11時45分

【場所】新宮図書館 おはなしのへや

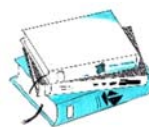
【対象】5歳から(未就学児は保護者同伴)

【定員】15名(先着順・要申込)

【持ち物】ペットボトル・はさみ・セロハンテープ・ボンド(あれば) ビーズなどのかざり

【申込】新宮図書館(電話可)

全館



今年もやります!
『図書館福袋』

【期間】12月14日(金)~27日(木)

何が入っているのかは、借りてからのお楽しみ!

テーマをヒントに好きな分野を極めるもよし、

新たなジャンルに手を伸ばすもよし!

なくなり次第終了します。

年末・年始の返却ポストの使用について

12月28日(金)18時~1月3日(木)の期間は、龍野・揖保川・御津図書館の返却ポストの使用はご遠慮ください。

※ご迷惑をおかけしますが、返却ポストはご使用されないようご理解とご協力をお願いします。

おすすめする子どもの本・147

『おおきいツリー ちいさいツリー』

ロバート・バリー 作 光吉 夏弥 訳 大日本図書



もうすぐクリスマスです。ウィロビーさんのお屋敷に、見たこともないような大きな大きなツリーが届きました。ツリーは大広間に運ばれますが、立ててみると先が天井につかえて、弓なりに曲がってしまいました。「こりゃ、なんとかしなくちゃなるまい」そこで執事はぱっさりと、ツリーの先をちょん切りました。

さて、ちょん切られたツリーの先は、小間使いのアデレードに贈られました。ところが、ここでもツリーはちょっと大きめ。ツリーの先はアデレードにちょきんと切れ、庭師のチムのもとへ。ここでもツリー

は先を切られ、窓の外に放り出されました。それを見つけて家に持って帰ったのはクマのバーナビー。でも、ここでもやっぱりツリーは大きくて…。こうして切りとられたツリーは、次はきつね、うさぎの家にもらわれ、最後にねずみの家族のかわいいツリーになりました。

1本の見事なツリーの先が、少しずつ切られ、行く先々の人や動物たちの家で素敵なクリスマスツリーになっていく様子が、軽やかなタッチで描かれています。次はどうなるのだろうという期待とともに、大きさは違っても、ツリーはどこの家でも喜んで迎えられる結末に、子どもの心は満たされます。読んであげるなら5歳くらいから。
(御津図書館 岡村)

『第八森の子どもたち』

エルス・ペルフロム 作 野坂 悦子 訳 福音館書店



第二次世界大戦末期、ナチスドイツ軍がオランダを占領したため、町に住んでいた11歳の女の子ノーチェは、森の中の一軒家にお父さんと身を寄せます。

その牧場には、^{あるじ}主夫婦と3人の子ども以外にも作男や、ドイツ軍に抵抗運動をしたため^{かくま}匿われている青年もいました。ノーチェは薪割りやこの家の脳に障害のある女の子の世話など、いろいろな仕事を進んで手伝いました。それでも、合間をぬって、一番の友達でこの家の長男エバートとそり遊びをし、屋根裏で山になった干し草から滑り降り、探偵ごっこをします。

ある日の夜中、訪れた男の人の「もうすぐだ」の伝言に、おばさんはタオルや石鹼

の用意をし、ノーチェにも一緒に来るように言います。行先は、入ってはいけないといわれている「第八森」の、地面に穴を掘って作った丸太の家でした。そこには、ユダヤ人の一家が住んでいました。奥さんが産気づいたのでおばさんが呼ばれ、ノーチェも出産に立ち会います。実は、おばさんたち夫婦は毎日食事を届けて、この家族を支えていたのです。

本作は、作者の体験をもとに、終戦によるこの家族との辛い別れまでが綴られます。飛行機からの機関銃攻撃を受けて干し草山に飛び込むなど、戦時下の恐ろしい体験をしながらも、普通に遊び、暮らしている子どもの目から見た等身大の世界そのものが描かれます。小学5年生くらいから。

(揖保川図書館 大西)



12月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

8日(土)・15日(土) 11時～11時20分
『クリスマスのふしぎなはこ』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

10日(月)・17日(月)・24日(月) 11時～11時20分
『さんかくサンタ』他

揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者

1日(土)・8日(土)・15日(土) 10時30分～10時50分
『クリスマスのふしぎなはこ』他

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

9日(日)・16日(日)
11時～11時20分
『さんかくサンタ』他

【対象】5歳児～

9日(日)・16日(日)
11時30分～11時50分
『かさじそう』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

1日(土)・8日(土)・15日(土)・22日(土)
10時15分～10時45分
「プンクマインチャ」他

揖保川図書館

1日(土)・8日(土)・15日(土)
11時～11時30分
「あるだんなさんとおかみさんのおはなし」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

14日(金)
10時～11時30分
『周平独言』
藤沢 周平 著

揖保川図書館

7日(金)
10時～12時
『機関車先生』
伊集院 静 著

御津図書館

19日(水)
13時30分～15時30分
『風味絶佳』
山田 詠美 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

13日(木) 10時～11時30分
『シロクマ号となぞの鳥』アーサー・ランサム 作



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

来年こそは!!

来年こそ!! 新しく始めた
いと思っている方に、パ
ソコン、マラソン、農業、
陶芸、釣り、料理、語学
など、入門書を取り揃え
ています。

龍野東・西中学校トライ やる 生徒のおすすめ本

手作りポップで本の紹介
をしています。

【期間】12月27日まで

新宮図書館

著名人のオススメ本

松下幸之助さん座右の書
『菜根譚』(中国古典)、又
吉直樹さんの太宰治作品、
高橋一生さんの『騎士団長
殺し』(村上春樹著)、加藤
一二三さんの『福翁自伝』
(福沢諭吉著)など、各界
の著名人おすすめの本を
集めました。

【期間】12月27日まで

揖保川図書館

児童展示

おくいものっていいね

素敵なおくりものがテ
ーマになっている絵本
や物語を集めました。
寒い冬の季節に、心温
まるおはなしを読んで
みませんか?

【期間】12月27日まで

御津図書館

つくる楽しみ

「作る」「造る」「創
る」どの「つくる」を
やってみたいですか?
知りたい「つくる」は
ありますか?手芸、
DIY、家族史作り・・・
さまざまな分野の「つ
くる」本を集めてみま
した。

【期間】12月13日まで